本日、議員の皆さまのご出席をいただき、令和7年香美市議会定例会6月定例会議が開かれますことに、厚く御礼申し上げます。

議案の説明に先立ち、最近の香美市の取り組みを例に挙げながら、私の政治姿勢や市政運営についての考え方を説明させていただきます。

まず、教育長不在問題についてです。

先月5月22日に開催された5月臨時会議にて、教育長の同意議案を提出させていただきましたが、賛成6反対10で、否決となりました。

この日は、多くのマスコミの皆さんが取材に来られ、お昼にはテレビで放送されましたし、ネットでも配信されるなど、世間の注目を、大きく集める結果となりました。

当日は、マスコミの皆さんからのインタビューもあり、私なりに真摯に答えさせていただきました。新聞やテレビを通じて、私の考え方を、多くの方に知って頂けたのではと思います。

インタビューの中でお答えしたのは、2度の否決を、非常に残念に思っていること。早期に教育長不在を解消すべきと考えていること。

そして、誰を提案しても否決されるのではないか、という不安な気持ちをも、率直にお話しました。私としましては、議会の同意を頂けない可能性がある今の状況では、「香美市教育長を引き受けよう」と言ってくれる方はいないのではないかと、とも思っています。

また、教育長候補となるだけでも、世間の注目を浴びる状況ともなりました。

先月は、候補を議会に通知した時点で、経歴まで報道されました。これから提案する3度目の教育長候補は、更に注目されることが予想されます。

こういった状況では、私としては、議会で可決されることの確信が持てなければ、どなたかに香美市教育長を打診する事はできない、と考えています。

そこで、5月臨時会議にて、否決の判断をされた10名の市議会議員の皆様それぞれに、教育長の同意議案について、どういった条件なら賛成して頂けるかのチェックリストを作って頂くよう、お願いしております。「賛成のための条件リスト」です。

具体的には、「この条件を満たす方であれば賛成する」という、条件を示して頂き、合わせて、例えば、お人柄という条件を挙げられるのであれば、「お人柄の条件を満たす・満たさない」の判断材料も、あわせて示して頂きたいと思います。10名の市議会議員の皆様による、教育長としてふさわしい方の条件を満たす方について、できるだけ早期に、手を尽くして探し出したいと思います。

まずは「賛成のための条件リスト」作成へのご協力を、よろしくお願いいたします。

次に、先の3月定例会議で設置された「ハラスメント防止条例特別委員会」についてです。

この特別委員会は、私が前教育長に行ったといわれているパワハラ問題について、議会として解決するために設置して頂いたものと理解しており、とてもありがたく思っております。

23日の高知新聞では、教育長の同意議案に反対された議員のコメントとして、「市長への信用がない状態で、説明不足」との内容がありました。この信用がない状況というのは、パワハラ問題のことが、大きく影響していると考えております。

私のパワハラ疑惑について、議会として結論を出して頂くことは、教育長不在問題を早期に解決するためにも有効であると思います。私としましては、これまでの議会でもご答弁させて頂いているように、きちんと調査に応じさせて頂き、私に非があるのであれば、罰を受ける覚悟もございします。

中平委員長、西村副委員長には、強いリーダーシップの下、早期にご対応頂けますよう、よろしくお願いいたします。

次に、NHK連続テレビ小説あんぱんについてです。

3月31日に放送がスタートした「あんぱん」については、やなせたかし先生の言葉や、先生が作品に込められた思いなどが、物語の中に散りばめられており、私自身、毎日楽しく拝見しております。

また、多くのお客様に、香美市にお越し頂けるよう、取り組んでいる所です。

放送開始に合わせて改修したやなせたかし記念館前のセレネ前広場では、高知県、南国市、香南市と連携して、3月29日に、ものべがわエリア観光博「ものべすと」のオープニングイベントを開催しました。続いて31日には、あんぱん放送第1回を、あんぱんに出演している香美市出身の俳優・榎尾篤紀さん、やなせスタジオの越尾正子社長をお迎えして、パブリックビューイングを開催しました。

そしてゴールデンウィーク期間中のアンパンマンミュージアムへの来場者数は、延べ11日間で1万7千317人と、平年の約1.5倍となり、手ごたえを感じている所です。

また心配された渋滞については、予約システムを導入したことにより、目立ったものはなく、お客様にもストレスなく来て頂いたものと思っております。今後は、夏休みに向けて、更に多くのお客様に来て頂き、香美市のファンになって頂くべく、取り組みを進めてまいります。

また、今回の補正予算では、観光大使の委嘱に伴う謝金等を計上いたしました。

連続テレビ小説「あんぱん」の放送によって、やなせたかし夫妻にゆかりのある本市が注目される中、今後、ますます観光客の方々にお越しいただくため、本市の観光PRをご支援していただける新たな観光大使を1名委嘱いたします。

この場でお名前をご披露したいところではございますが、諸々の理由によりまして、詳細は、後日、タイミングを計ったうえでお知らせをいたします。何卒、ご了承をお願いします。

次に、「5つの基本政策と4つの横断的な政策に基づく香美市づくり」についてです。

最初に、基本政策の1つ目、経済の活性化についてであります。

先月、5月24日に、東京都世田谷区の三軒茶屋駅前マルシェにて、香美市をPRするため、商工観光課職員がブース出展を行いました。高知県東京事務所にもご協力をいただき、香美市の観光パンフレット、やなせたかし記念館の特別展リーフレットなどを1,000部用意し、全て配り終えることができました。また、受け取ってくれた方の中には、連続テレビ小説「あんぱん」を視聴している方も多く、やなせたかし先生の出身地が香美市と知って興味を持ってもらえた方から、ふるさと納税や旅行先の候補地として考えてみたいというお声掛けをいただいたとのことで、十分成果を上げられたと考えております。

今後は、香美市の特産品などの販売も検討し、より一層、香美市のPRに努めていきたいと思っております。

また、園芸用ハウス等リノベーション事業費補助金として、1,068万1千円の補正予算を計上させて頂いております。これは、夏場の高温対策に関する資機材導入に対して補助するもので、品質の向上などが期待されます。今後とも、農家が取り組む、増収や経営の効率化について、しっかりと支援してまいります。

そして、産業振興推進総合支援事業費補助金5,000万円についてです。この予算は、県の産業振興計画で地域アクションプランに位置づけられている本市に関係する取組を、効果的に実行するために支援するもので、県からの補助金を、香美市が一旦受けて、事業者に支出するという仕組みとなっております。

次に基本政策2つ目の健康長寿の香美市づくりです。

先月26日に、包括連携協定を結んでいる大塚製薬株式会社と共に、健康対策会議を開催させて頂きました。この会議は、熱中症を予防するため、香美市内の事業所に集まって頂き、啓発活動や予防対策について情報交換をするというものです。香美市としましても、健康推進課を中心に、消防本部、教育委員会と一緒に、市民の熱中症予防や、クーリングシェルターのPRに取り組んでいる所です。

今年の夏も、熱くなることが予想されますが、市民の熱中症による緊急搬送を、昨年よりも減少させるべく、取り組んでまいります。

次に、訪問介護事業所への支援についてです。

香美市にとりまして、訪問介護事業所は重要な存在で、県とも支援策について、情報共有を行っている所です。そして令和7年度から、訪問介護サービスを提供する事業者が、利用者宅までの訪問や送迎に要する時間が75分を超える場合に、事業費の50%を、新たに県補助としたことと、新規雇用に係る一時金の支給や対象者の増加により、今回の補正予算で、事業所への補助金を増額しております。

今後とも、香美市の介護事業者を支援すべく、取り組んでまいります。

次に基本政策3つ目の教育の充実です。

今年度、大柘小学校と大柘中学校が、文部科学省のリーディングDXスクール事業の指定校に認定されました。高知県では、他に、高知市の土佐山学舎と浦戸小学校が指定されています。

大柘小中学校は、コロナ禍の時から、自宅と学校をオンラインでつないだり、他の自治体と、オンライン授業を行うなど、ICTを活用した取り組みを積み重ねてきております。

今後とも、大柘小中学校には、香美市のDX教育について、先頭を走って頂き、子ども達の可能性を広げていく全国モデルとなるべく、市長部局として応援してまいります。

合わせて、片地小学校が、高知県安全教育推進事業の拠点校となりました。片地小学校は、防災学習の取り組みを長らく続けており、子ども達が率先して防災活動に取り組むことで、大人も巻き込んで、地域全体の防災意識の高揚を図ります。この取り組みも、市長部局として、しっかりと応援してまいります。

次に、基本政策4つ目の市民を守る災害対策についてです。

香美市では、早くから消防署にドローンを導入し、災害時での活用で、実績を上げております。本議会では、新たに2名のオペレーターを養成すべく、5万5千円を計上させて頂きました。

そして、先月24日には、香美市役所内で風水害に備えた防災訓練を実施しており、また職員のレベルアップのために、オンライン講習のための予算3万3千円も計上させて頂いております。

合わせて、自主防災組織との連携を深め、活動を支援するため、8月から会計年度任用職員を雇用するための予算166万2千円も計上させて頂きました。

今後も、南海トラフ地震や豪雨災害など、大規模災害も想定して、市役所内の連携を深め、市民の安心安全のために取り組んでまいります。

最後に基本政策5つ目のインフラの充実と有効活用です。

4月15日に、奥物部ふるさと物産館がリニューアルし、式典を開催しました。

1階には、レストラン Ensoleille（アンソレイユ）がオープンし、多くのお客様でにぎわっております。

合わせて、高知だいすきポケモン「ヌオー」の観光マンホールが設置されました。この観光マンホールは、通称「ポケふた」といい、県内では、奈半利町、大豊町、日高村、津野町、大月町、三原村に設置されております。

このポケふたは、全国に設置されており、県外から奥物部ふるさと物産館のポケふたを目指して来てくださる方もいるようです。

今後とも、新たな取り組みにどんどんチャレンジして、物部町の活性化に取り組んでまいります。

続いて、4つの横断的な政策についてです。

1つ目は、親しまれ信頼される行政窓口への継続的な改善です。

香美市役所の市民サービス向上のためには、市役所職員のレベルアップが不可欠であり、私が市長就任以来、職員の育成については特に、課長会などでも話をしてきたところです。

私としましては、人事異動の際には、職員の希望をかなえたいと、希望の部署をできるだけ聞き取るほか、それぞれの職員が、将来どういった働き方を目指しているのかについても、明確にしてもらいたいと思っております。

また他の自治体では、他の部署への1週間お試し体験などの実例があり、自分にあった仕事を見つけるための支援策にも繋げられたらと考えております。

今後とも、市民サービスの向上を目指した、市役所職員の能力開発と、チームとしての一体感醸成について、取り組んでまいります。

2つ目は、中山間地域対策の充実・強化です。

香北町の市川地区では、山腹に設置されている用水路が、豪雨などの後には、埋まってしまう事態となっており、住宅にまで被害を与えかねない状況となっております。そこで地元協議が整ったことから、対策工事として950万円を計上させて頂きました。

集落の人口が減少する中で、農業用水路の維持管理が難しくなっていますが、香美市としましては、受益者負担をいただきながらにはなりますが、緊急自然災害防止対策事業債やダム周辺環境整備事業費交付金等を活用して、しっかりと予算計上させて頂き、集落を守るべく取り組んでまいります。

3つ目は、こども施策の充実と女性活躍の場の拡大です。

高知県は、「共働き・共育て」をキーワードに、すべての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる高知を目指し、男女間で負担も喜びも分かち合う生活スタイルを推進しております。

このことにより、子育てに対する女性の負担を軽減して、女性がいきいきと活躍できると同時に、家事

を男性が担うことで、もう一人生んでも良いかなという、出生率の向上にもつなげようという取り組みです。

香美市におきましては、まずは市役所からという事で、男性育休の取得促進や、「家事・育児は女性」という固定的な考え方を改めるべく、取り組み始めたところです。

男性育休の取得など、まだまだな部分がありますが、市役所全体で取り組みを加速化し、香美市全体に広げるべく努力してまいります。

4つ目は、文化芸術とスポーツの振興です。

現在、市役所1階ホールにて、香美市内のビーズ作家さんによる作品展示を行っております。

アンパンマンキャラクターのぬいぐるみを使って展示して頂くなど、朝ドラ「あんぱん」を盛り上げても頂いております。

香美市内には、文化芸術団体が、たくさんありますので、香美市芸術祭の時期だけでなく、年間を通じて発表する機会を、たくさん生み出すことができればと思っております。

また、令和8年度には国民文化祭が高知県内で開催されます。香美市でも開催予定であり、これらの事業の円滑な実施に向けて、関係団体との連携を図りながら、香美市の文化の魅力を全国に発信できるよう、準備を進めてまいります。

以上、5つの基本政策と4つの横断的な政策についてご説明させていただきました。

それでは改めて、本会議に提案します議案についてご説明いたします。

報告第 10 号は、繰越明許費繰越計算書（一般会計）の報告についてです。

報告第 11 号は、簡易水道事業会計予算繰越計算書の報告についてです。

報告第 12 号は、下水道事業会計予算繰越計算書の報告についてです。

議案第 49 号は、令和7年度香美市一般会計補正予算（第2号）です。

議案第 50 号は、令和7年度香美市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）です。

議案第 51 号は、令和7年度香美市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）です。

議案第 52 号は、香美市振興計画審議会条例の一部を改正する条例の制定についてです。

議案第 53 号は、香美市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定についてです。

以上、報告3件、議案5件の提案となります。

議案の詳細につきましては、お手元の議案細部説明書をご参照頂き、何卒ご審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。